

令和5年度三島病院連絡会開催後ご意見受付シートまとめ

<別紙>

※令和5年12月19日に開催した病院連絡会後に10名から意見の提出があった。

病 院 名	左記の病院に対する主なご意見	意見数
第一東和会病院 東和会いばらき病院	○回復期病床が不足しているなかで、慢性期病床を急性期病床に転換することは、地域医療構想の趣旨に反しているのではないか。	2件
	○今年度、急性期病床が不足しているのは、大阪モデル(大阪府が昨年度設定した病床機能の報告基準を指すものと考えられる)により、高度急性期が増加したことによる影響と考えられ、急性期病床への転換には異議がある。 ※この状況を踏まえ、別途「病床機能」の報告基準の見直しについて意見あり。	1件
	○昨年は、急性期16床、回復期27床に転換する案で了承(合意)が得られた。 43床全てを急性期に転換することには異議がある。	1件
みどりヶ丘病院 茨木みどりヶ丘病院	○茨木市中心部に大幅に急性期を移す計画は、医療人材の不足や既存医療機関との競合が懸念される。既存医療機関への配慮が必要ではないか。	1件
	○茨木市病院誘致事業により茨木市に急性期病床が増加する見込みであること、また、茨木の現状の急性期病床稼働率からみて、急性期が不足しているとは考えにくい。計画の見直しが必要ではないか。	1件
	○急性期病棟の増床規模が大きすぎる。救急応需と急性期病床増床は別の話で、規模の大幅な縮小を希望する。	1件
【その他】 茨木市誘致病院事業	○みどりヶ丘病院の再編を踏まえた計画ではなく、計画の再検討が必要ではないか。	2件
	○茨木市や府には、茨木市における急性期病床について、考えを示していただく必要がある。また、本計画については、茨木市地域の病院間での合意形成が必要である。	1件